

会員の活動報告

(2009年11月～2010年10月)

奥 純

- ・アラン・ロブ＝グリエにおけるエグゾチスム(3)、(口頭発表、関西大学フランス語フランス文学会、2010年1月)

小澤祥子

- ・中世ファルスと狂言の比較 — 人間関係の対立における第三者の役割 — 『仏語仏文学』第36号、2010年3月)
- ・中世の笑劇：ファルスと狂言 (日仏文化講座CAF、2010年10月)
- ・中世の笑い — フランスのファルス (笑劇) の世界と狂言の世界 — (NPO法人彦根景観フォーラム・滋賀大学地域連携センター、ひこね街の駅「寺小屋力石」《談話室》それぞれの彦根物語、2010年10月)

川神傳弘

- ・ツヴェタン・トドロフ著『国替えを余儀なくされた男』(著書の紹介と翻訳『仏語仏文学』第36号、2010年3月)

渋谷直樹

- ・L'opposition de Voltaire contre l'intrigue galante dans la tragédie (『仏語仏文学』第36号、2010年3月)

太治和子

- ・2009年度ケベックスタージュ報告 (『外国語教育フォーラム』第9号、2010年3月)

田島義士

- ・ランボーの色彩表現 — 緑 (vert) の音の効果と意味の繋がり — (『仏語仏文学』第36号、2010年3月)

津川廣行

- ・「秘密」の世界から「自明」の世界へ — 《複雑系》の観点から — 『仏語仏文学』第

36号、2010年3月)

出口由美

- 「科学をめぐるディスコース」にみる対話的構造 — 携帯電話とたばこのディスコースの分析を通して — (『仏語仏文学』第36号、2010年3月)

友谷知己

- ラシースにおける悲劇的人物のコンセプト — 中庸・過誤・「良さ」 — (早稲田大学演劇博物館GCOEプログラム、2009年12月)

内藤義博

- *Le Devin du village de Rousseau est-il un opéra pastoral?* (『仏語仏文学』第36号、2010年3月)

野浪嗣生

- モーパッサンの短編小説における枠組の機能 (四) (『関西大学文学論集』第59号第3号、2009年12月)

山川清太郎

- 教科書「クリスタル Cristal」(小倉博史、間野嘉津子、兼山美幸氏との共編、駿河台出版社、2010年3月)

修士論文題目

2010年3月

出口由美

『科学の確実性とは何か? — マスメディアのディスコース分析を通して — 』

後 記

このたび永年にわたり本学会に貢献してられました伊藤誠宏教授が、2011年3月末日をもって退職されることになりました。この「伝語伝文学第37号」をご退職の記念号とさせていただきますが、多数の原稿をお寄せいただきました会員の皆様および本号の刊行にご協力をいただきました皆様には厚く御礼を申し上げます。

本学会2010年度研究発表会・総会が2010年12月18日(土)午後1時から、関西大学千里山キャンパス第1学舎AV-A教室において開催されました。3名の会員諸氏による研究発表会は和やかな中にも活発な質疑応答で盛り上がり、充実した研究発表会となりました。発表者と発表題目を以下に紹介しておきます。

1. アラン・ロブ＝グリエにおけるエグゾチスム (2)

本学教授 奥 純 氏

2. サロンと仕掛け

—『失われた時を求めて』におけるサロンの働き—

奈良大学教授 田中 良 氏

3. アンドレ・ジイドにみる進化論の影響

—「複雑系」の観点から—

大阪市立大学教授 津川 廣行 氏

末尾ながら、会員各位のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

(編集委員会)

関西大学フランス語フランス文学会々則

1. 本会は関西大学フランス語フランス文学会 (Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) と称し、事務所を関西大学文学部フランス語フランス文学専修合同研究室に置く。
2. 本会はフランス語フランス文学に関する研究および発表と、これに関連する事業を行なうことを目的とする。
3. 本会は次の事業を行なう。
 1. 機関誌「仏語 仏文学」(Bulletin de la Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/The Bulletin of Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) およびその他の出版物の刊行。
 2. 研究会・講演会の開催。
 3. その他本会の目的にかなう事業。
4. 本会はその目的に賛同する次の会員をもって構成する。
 1. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修専任教員。
 2. 関西大学大学院文学研究科フランス文学専攻・専修学生、およびその修了者 (旧学科名称時の大学院修了者を含む)。
 3. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修学生、およびその卒業生 (旧学科名称時の学部卒業生を含む)。
 4. 本会の趣旨に賛同し、入会を認められた者。
5. 本会の目的を達成するため会費を納入する。
6. 本会に次の役員を置く。その任期は1年とし、重任を妨げない。
 1. 会長 1名
 2. 委員 若干名
 - a. 企画委員
 - b. 編集委員
 - c. 庶務・会計委員会長と委員によって委員会を構成し本会の実務の運用に当り会長はこれを統括する。
7. 会員は機関誌「仏語 仏文学」等の配布をうける。また会員は機関誌への投稿、および本会の行なう事業に参加することができる。なお、投稿論文は、会則6に定める委員会の議を経て掲載される。
8. 本会の重要事項は総会の議決による。

(2007年4月1日から施行)

仏語 仏文学 第37号

2011年3月15日 発行

編集・発行 関西大学フランス語フランス文学会
吹田市山手町 関西大学
フランス語フランス文学研究室

印刷所 株式会社 遊文舎
大阪市淀川区木川東4丁目17番31号
電話 (06) 6304-9325(代)

(非売品)